

南京に柔道館完成 ジャパンウィーク開幕

中国江蘇省の南京市で1日、「日中友好南京柔道館」が完成し、1984年ロサンゼルス五輪の金メダリストで東海大学体育学部長の山下泰裕氏が、柔道を学ぶ地元の中高生ら約1000人に稽古をつけた。

この柔道館は山下氏が計画段階からかわり、日本政府が無償資金協力として約9万6400ドル(約868万円)を供与して同市内の体育施設を改修、完成した。

日本の支援で中国に柔道館ができるのは、山東省青島市に続いて2番目。

大外刈りや内またなどの技の指導を行い、学生らと畳の上で汗を流した山下氏は、「南京という場所でも、柔道を通じた日中交流を進めることに意味がある」と強調した。

柔道館の完成は、いわゆる南京虐殺事件を背景に根強く残る反日感情を改善してもらおうと、上海の日本総領事館と南京市人民対外友好協会が主催で同日開幕した「南京ジャパンスウィーク」に合わせた。日本語スピーチコンテストなど、11のイベントが5日まで南京で行われる。2月28日に行われたプレイベントでは地

山下泰裕さん、学生らに稽古



元女子大生による着物コンテストも行われ、若者を中心に相互理解を深めた。

南京でのジャパンスウィーク開催は今年で3回目。

(南京 河崎真澄、写真も)